

京成電鉄株式会社

AE01

京成

株主・投資家の皆様へ

BUSINESS REPORT

第170期中間報告 平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

京成ビジネスレポート 第170期中間報告 CONTENTS

株主の皆様へ	1
事業の概況	2
連結財務諸表	5
特集	8
営業エリア案内	10
TOPICS	11
株式に関するご案内	12
会社の概要／株主情報	13

～京成グループ理念～

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

グループ行動指針

- 安全** 私たちは、安全・安心を第一に行動します。
- 接客** 私たちは、あいさつを励行し、お客様の立場にたって行動します。
- 成長** 私たちは、絶えず自己革新し、新たな価値を創造します。
- 企業倫理** 私たちは、すべての人を大切に、法令・規則を遵守します。
- 環境** 私たちは、自然環境に配慮し、行動します。

グループスローガン

いろんな笑顔を結びたい 京成グループ

株主の皆様へ



拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第170期上半期(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の事業概況をご報告するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、復興需要等を背景に、企業収益や個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、円高の長期化、電力供給の制約に加え、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、東日本大震災の反動もあり、全事業営業収益は1,179億4千1百万円(前年同期比5.3%増)となり、全事業営業利益は120億2千6百万円(前年同期比27.5%増)となりました。経常利益は、持分法投資利益の増加等により158億3千万円(前年同期比74.4%増)となり、四半期純利益は117億3千8百万円(前年同期比103.1%増)となりました。

当期の中間配当金につきましては、10月31日開催の取締役会決議を経て、1株につき2円50銭とさせていただきますので、ご報告申し上げます。

当社グループは、グループ経営理念に基づき、「安全・安心」と、お客様に喜ばれる商品・サービスを提供し、沿線を中心とする地域の発展に寄与してまいります。また、コンプライアンス・リスク管理体制を充実させ、内部統制システムの強化に努めるとともに、常に自然環境との調和に配慮するなど企業の社会的責任の遂行に取り組んでまいります。さらに、お客様第一主義を徹底し、「BMK(ベストマナー向上)推進運動」を浸透させ、選ばれる京成グループを構築してまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成24年12月

代表取締役社長

三枝紀生

運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、高架橋等の耐震補強工事を推進したほか、デジタルATS設置工事等を継続して行いました。大規模工事については、押上線立体化工事において、墨田区内での工事を推進いたしました。

営業面では、「下町日和きっぷ」等の企画乗車券を販売したほか、成田国際空港内乗車券販売カウンターをリニューアルオープンするとともに、夏季繁忙期にアクセス特急を増便するなど、空港利用のお客様に対して利便性の向上を図りました。また、押上駅（スカイツリー前）の自動改札機を増設し案内サイン類をリニューアルしたほか、各種営業施策を実施いたしました。

バス事業では、東京スカイツリーの開業に伴い、墨田



成田スカイアクセス

区内循環バス等路線の新設及び変更を実施いたしました。このほか、一般乗合バス路線においては、成田市内で新規路線の運行を開始いたしました。高速バス路線においては、格安航空会社（LCC）の就航等に対応した路線を新設するとともに、東京駅～千葉市バイエリア方面線等の運行を開始いたしました。

タクシー事業では、無線業務の統合・集約化計画を進めるなど、利便性向上と効率化を図りました。

以上の結果、営業収益は661億1千9百万円（前年同期比5.9%増）となり、営業利益は101億1千3百万円（前年同期比40.9%増）となりました。



東京駅～成田空港を結ぶ「東京シャトル（Tokyo Shuttle）」

流通業

百貨店業界では、各種イベントを開催したほか、売場の一部リニューアルを行うなど、販売の強化に努めました。

ストア業では、リブレ京成青砥駅前店をリニューアルオープンしたほか、コンビニエンスストアが堅調に推移いたしました。

以上の結果、営業収益は365億3千8百万円（前年同期比1.5%増）となりましたが、営業利益は6億5千万円（前年同期比13.1%減）となりました。



リニューアルオープンした「リブレ京成青砥駅前店」

不動産業

不動産販売業では、「サングランデ公津の杜グレイス」及び「サングランデ印西牧の原ドアシティ」等の中高層住宅や「グランデカーサ公津の杜」等の戸建住宅のほか、成田市公津の杜の住宅用地を販売いたしました。

不動産賃貸業では、今年度中の竣工に向け、京成船橋駅西口の賃貸住宅や船橋高架下賃貸施設等の建設を推進いたしました。

以上の結果、営業収益は81億3千4百万円（前年同期比13.0%増）となりましたが、営業利益は10億5千万円（前年同期比41.6%減）となりました。



「サングランデ印西牧の原ドアシティ」を販売

レジャー・サービス業

ホテル業では、京成ホテルミラマーレにおいて、開業10周年を記念した各種イベントを実施するなど、新規顧客の獲得に努めました。

旅行業では、新しい商品の企画・催行により、営業力の強化を図りました。

以上の結果、営業収益は50億6千5百万円(前年同期比7.1%増)となり、営業利益は前年同期と比べ改善し1億2千8百万円となりました。



buffetボードを改装した「ディスカーロ」(京成ホテルミラマーレ)

建設業

建設業では、バス車庫や分譲マンションの新築工事のほか、公共施設工事等を行いました。

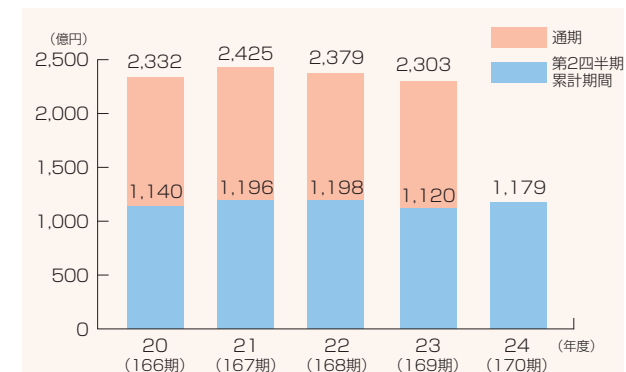
以上の結果、営業収益は70億1千2百万円(前年同期比2.0%増)となりましたが、営業利益は1千4百万円(前年同期比87.5%減)となりました。



新築した「京成バス 芝園車庫」

京成グループ決算ハイライト

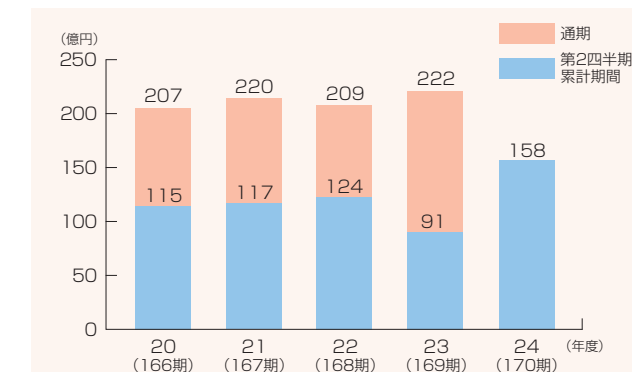
■営業収益



決算のポイント

東日本大震災の反動もあり、営業収益はその他の事業を除く各セグメントにおいて増収となりました。

■経常利益



決算のポイント

経費削減の効果に加え、持分法投資利益の増加等により、増益となりました。

連結対象会社

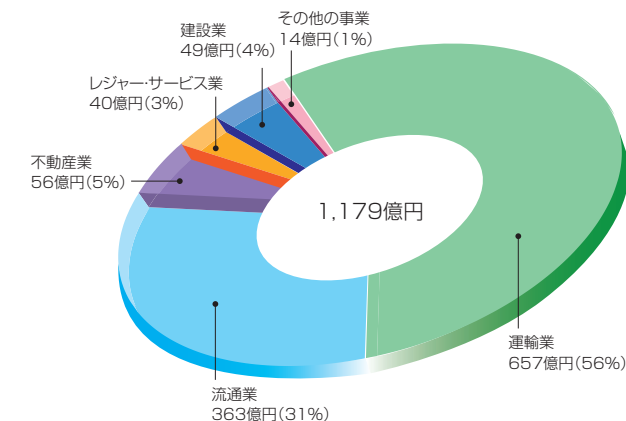
連結子会社

- **運輸業**：北総鉄道(株)、千葉ニュータウン鉄道(株)、京成バス(株)、千葉交通(株)、千葉中央バス(株)、千葉海浜交通(株)、千葉内陸バス(株)、成田空港交通(株)、ちばフラワーバス(株)、ちばレインボーバス(株)、東京ベイシティ交通(株)、ちばグリーンバス(株)、京成タウンバス(株)、ちばシティバス(株)、京成トランジットバス(株)、京成バスシステム(株)、帝都自動車交通(株)、帝都自動車交通(株)(墨田G)、帝都自動車交通(株)(大森G)、市川交通自動車(株)、成田タクシー(株)、(株)千葉交タクシー、船橋交通(株)、合同タクシー(株)、西千葉タクシー(株)、かずさ交通(株)、三田下総交通(株)
- **流通業**：(株)京成ストア、(株)コミュニティ京成、(株)水戸京成百貨店、京成バラ園芸(株)、(株)ユアエルム京成
- **不動産業**：京成不動産(株)、京成ビルサービス(株)、京葉商事(株)
- **レジャー・サービス業**：(株)イウォレ京成、筑波観光鉄道(株)、京成ホテル(株)、(株)千葉京成ホテル、(株)京成エージェンシー、京成トラベルサービス(株)、京成ハーモニー(株)
- **建設業**：京成建設(株)、京成電設工業(株)
- **その他の事業**：京成車両工業(株)、京成自動車工業(株)、(株)京成保険コンサルティング、(株)京成ドライビングスクール

持分法適用関連会社

- (株)オリエンタルランド、新京成電鉄(株)、関東鉄道(株)、小湊鉄道(株)、成田空港高速鉄道(株)、東京空港交通(株)

■セグメント別営業収益構成比



(注)セグメント別営業収益構成比は、外部顧客に対する営業収益の比率を表示しております。

四半期連結貸借対照表の要旨

科目	当第2四半期 会計期間末 (平成24年9月30日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	79,808	84,803
現金及び預金	24,478	26,561
分譲土地建物	17,466	19,241
その他	37,863	39,000
固定資産	638,592	640,090
有形固定資産	491,213	496,229
建物及び構築物	261,769	266,303
土地	139,797	139,821
その他	89,647	90,104
無形固定資産	11,252	11,800
投資その他の資産	136,126	132,060
投資有価証券	116,508	112,085
その他	19,618	19,975
繰延資産	154	177
資産合計	718,555	725,072

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単位：百万円

科目	当第2四半期 会計期間末 (平成24年9月30日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	162,914	169,509
短期借入金	65,011	68,411
1年内償還予定の社債	16,000	16,050
その他	81,902	85,047
固定負債	353,809	364,414
社債	65,000	75,000
長期借入金	157,228	155,113
鉄道・運輸機構長期未払金	67,463	68,751
その他	64,118	65,549
負債合計	516,724	533,924
(純資産の部)		
株主資本	198,642	187,762
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,485	28,485
利益剰余金	135,382	124,502
自己株式	△ 2,029	△ 2,029
その他の包括利益累計額	183	536
その他有価証券評価差額金	321	684
繰延ヘッジ損益	△ 138	△ 148
少数株主持分	3,005	2,848
純資産合計	201,831	191,148
負債純資産合計	718,555	725,072

四半期連結損益計算書の要旨

科目	当第2四半期累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	前第2四半期累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)
営業収益	117,941	112,029
営業費	105,915	102,600
営業利益	12,026	9,428
営業外収益	7,056	3,416
営業外費用	3,252	3,768
経常利益	15,830	9,076
特別利益	573	965
特別損失	426	1,126
税金等調整前四半期純利益	15,977	8,916
法人税、住民税及び事業税	3,592	2,652
法人税等調整額	436	422
法人税等計	4,028	3,075
少数株主利益	210	60
四半期純利益	11,738	5,780

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

科目	当第2四半期累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	前第2四半期累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	16,338	12,889
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,192	△ 152
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 14,997	△ 9,325
現金及び現金同等物の 増減額	△ 1,851	3,411
現金及び現金同等物の 期首残高	26,106	22,191
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	-	2
現金及び現金同等物の 四半期末残高	24,255	25,606

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

空港利用者の利便性向上に取り組む！



LCC就航等に対応！成田空港へのアクセス等がさらに便利になります。

LCC（格安航空会社）や大手航空会社の新規路線就航等、ますます注目が集まる成田空港。京成グループでは、京成線ダイヤ改正による空港アクセスの強化や、LCCの就航等に対応した高速バスの運行を開始するなど、空港利用のお客様の利便性向上につながる各種施策を展開しております。

10月21日（日）京成線ダイヤ改正で空港アクセスが強化！

- ▶ スカイライナーが早朝日中増発！
- ▶ アクセス特急の所要時間短縮！

今回のダイヤ改正ではスカイライナーとアクセス特急の速達性等を向上させ、成田空港アクセスの強化を図りました。

●スカイライナー（早朝・下り増発）

朝の空港アクセスを強化するため、上野5時58分発、成田空港6時42分着を新設。これによりスカイライナーをご利用の場合、改正前より32分早く成田空港に到着できるようになりました。

●スカイライナー（日中・上り増発）

午後のご利用の多い時間帯（14時台～16時台）の上りスカイライナーを増発し、朝の下りと同じく概ね20分間隔での運転を実現いたしました。

●アクセス特急（日中・所要時間短縮）

日中時間帯の停車時間等の見直しを行い、羽田空港～成田空港間の所要時間を10分、押上～成田空港間の所要時間を9分短縮いたしました。（日中の標準的な列車どうしの所要時間比較）

ダイヤ改正の概要

上野

成田空港

成田空港へ
成田空港6時42分着の下りスカイライナーを新設

成田空港から
14時～16時台の上りスカイライナーを増発

アクセス特急の所要時間短縮

新たな空港アクセスも誕生！「東京シャトル」運行開始！

- ▶ 東京駅と成田空港を結ぶ高速バス路線の新設！10月1日から「粋割」もスタート！

LCC就航等に伴う早朝・深夜時間帯の航空発着便を中心とした旅客輸送に対応する高速バス「東京シャトル(Tokyo Shuttle)」の運行を7月3日から開始いたしました。東京駅～成田空港を最短所要時間約60分で結び、9月9日から34便を42便に増便いたしました。また、10月1日から東京駅出発便を一律900円、成田空港出発便を一律1,000円とする「粋割(イキワリ)」を開始いたしました。



東京シャトル「粋割(イキワリ)」のポスター

空港利用のお客様を、いろいろな側面からサポート！

- ▶ 「空港宅配&スカイライナー」発売中！
- ▶ 乗車券販売カウンターをリニューアル

成田空港利用のお客様の利便性向上を目指して、スカイライナー引換券と成田空港宅配サービスをセットにし、割引料金で提供する「空港宅配&スカイライナー」を昨年12月30日から販売しております。また、成田空港第1旅客ターミナル南ウイングの乗車券販売カウンターをリニューアル。クレジットカードや銀聯カードで決済できるようになったほか、外国からのお客様への対応を強化いたしました。



リニューアルした乗車券販売カウンター

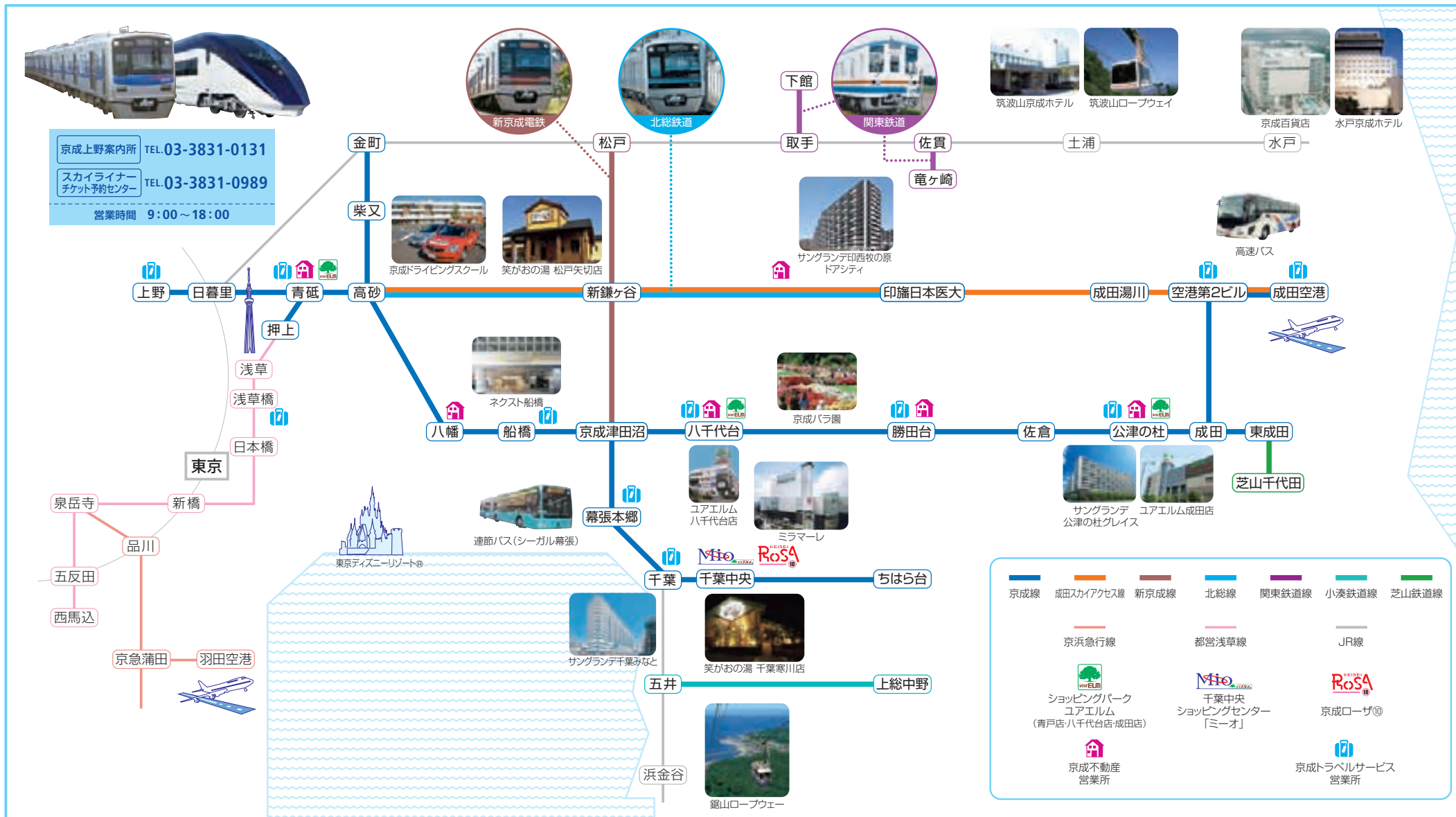
他社とのタイアップにより空港利用者の利便性向上等を図る！

- ▶ 京成スカイライナー&メトロバス
- ▶ TOKYOウエルカムセット・都心アクセス&地下鉄共通バス
- ▶ JAL成田=ポストン線就航記念キャンペーン
- ▶ 京成に乗ってジェットスターで飛ぼう！キャンペーン
- ▶ ANA成田=ヤンゴン直行便就航記念キャンペーン

成田空港からの東京観光に便利な「TOKYOウエルカムセット・都心アクセス&地下鉄共通バス」等の販売をはじめ、航空会社（JAL、ジェットスター・ジャパン、ANA）や成田空港とのタイアップキャンペーンを実施するなど、空港利用者の利便性向上等を図りました。



TOKYOウエルカムセット・都心アクセス&地下鉄共通バス



TOPICS

輸送の安全確保に関する取り組みを紹介 『安全報告書2012』を公表!



輸送の安全確保に関する取り組みをご利用のお客様をはじめ、沿線・関係者の皆様に広くご理解いただくため「安全報告書2012」を京成電鉄公式ホームページに公表いたしました。これは鉄道事業法第19条の4に基づくもので、本報告書では2011年度に取り組みました内容が紹介されております。

京成電鉄の安全への取り組み (一例)

1 線路の連続立体化により、運転保安度の向上を図る

道路と線路を立体交差化することにより踏切を廃止し、運転保安度の向上を図ります。現在、「墨田区内連続立体化工事」「葛飾区内連続立体化工事」を進めております。



京成曳舟駅高架化完成予想図 (墨田区内連続立体化工事)

2 「安全・安心」への様々な訓練を定期的実施!

事故発生時の迅速な救助や運転再開に取り組む「異常時総合訓練」をはじめ、テロ発災時の初動措置における警察との連携強化を図る「テロ対策合同警備訓練」などを行っております。



京成両毛基地において行われた異常時総合訓練

特別口座からの振替について

平成21年1月5日から株券の電子化が実施されたことにより、当社を含む上場企業の株券が廃止されております。電子化以降もお手元に株券をお持ちの株主様の株式は、当社が三菱UFJ信託銀行に開設いたしました「特別口座」にて管理されております。

「特別口座」に記録された株式に関しましては、配当金や株主優待を受ける権利など株主様の基本的な権利に支障はございませんが、売却に時間を要するなどの不都合が生じる場合がございますので、**ご本人名義の証券口座への振替**をご検討くださいますようお願い申し上げます。

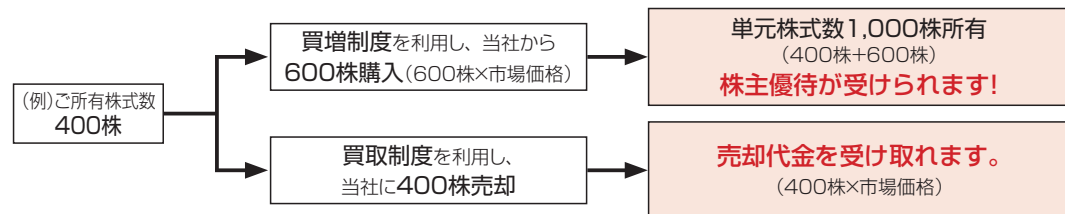
特別口座に関するお手続きの内容につきましては、以下までお問い合わせください。

特別口座の口座管理機関 ▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

単元未満株式の買増制度・買取制度について

当社の単元株式数である1,000株に満たない株式(単元未満株式)につきましては、株主総会における議決権がなく、株式市場で売買できないなどの制約がございます。

当社では、単元未満株式をお持ちの株主様が、1,000株に足りない数の株式を市場価格にて買増していただける制度(買増制度)及び単元未満株式を当社へ売却する制度(買取制度)を設けておりますので、ぜひご利用をご検討ください。



買増制度・買取制度に関するお手続きの内容につきましては、以下までお問い合わせください。

証券会社にてご所有の株主様 ▶ 各証券会社
特別口座に記録された株主様 ▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

会社の概要(平成24年9月30日現在)

創 立	明治42年6月30日
本 社	東京都墨田区押上一丁目10番3号 〒131-8555 03-3621-2242(総務人事部総務課)
資 本 金	36,803,841,088円
発行済株式の総数	344,822,371株
主な事業内容	鉄道による一般運輸業/土地・建物の売買及び賃貸業
営 業 キ 口	鉄道152.3km
車 両 数	鉄道客車602両
駅 数	69駅
従 業 員 数	1,727名

取締役及び監査役(平成24年9月30日現在)

代表取締役会長	花田 力	取締役	齋藤 貢
代表取締役社長	三枝 紀生	取締役	小林 敏也
専務取締役	神子田健博	取締役	佐藤 賢治
専務取締役	大室 健	取締役	眞下 幸人
常務取締役	宮田 弘幸	取締役	松上英一郎
常務取締役	平田憲一郎	常勤監査役	村岡 隆司
常務取締役	酒寄 博司	常勤監査役	増田 格
取締役	金子賢太郎	監査役	松野 信也
取締役	米川 公誠	監査役	上西京一郎
取締役	松村 修	監査役	小林 研一

株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日
中 間 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711(通話料無料)
上 場 取 引 所	東京証券取引所(第1部)
公 告 の 方 法	電子公告により行う

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は、同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

株主優待乗車証発行基準

ご所有株式数		株主優待乗車証の方式	発行枚数 (6か月につき)	継続ご所有追加発行枚数
1,000株以上	5,000株未満	回数券式(電車) 1枚1乗車(片道)有効	4枚	10,000株以上の各ご所有株式数を 3年以上継続してご所有の場合
5,000株以上	10,000株未満	◇	10枚	
10,000株以上	20,000株未満	◇	30枚	
20,000株以上	35,000株未満	◇	60枚	回数券式(電車) プラス 6枚
35,000株以上	50,000株未満	定期券式(電車)	1枚	◇ プラス 6枚
50,000株以上		定期券式(電車・バス)	1枚	◇ プラス 14枚
				◇ プラス 14枚



- (注) 1. 上記の株主優待乗車証は、当社線*でご利用いただけます。また、ご所有株式50,000株以上の株主様に発行する株主優待乗車証(電車・バス)は、当社線*及び京成バス(株)の路線バス(高速バス、コミュニティバス、深夜急行バス、貸切バス等を除く。)でご利用いただけます。
*北総線各駅(新柴又駅~印旛日本医大駅間)では、株主優待乗車証はご利用になれませんので、北総線区間の運賃を別途お支払いください。
2. スカイライナー等にご乗車の際は、別途ライナー券をお求めください。また、深夜バスにご乗車の際は割増分の運賃をお支払いください。
3. 継続ご所有追加発行は、過去3年間(平成24年11月送付分の場合、平成21年9月30日以降)すべての株主優待権利確定日(9月30日・3月31日)において、10,000株以上を継続して所有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様に対し、その期間の権利確定日に所有していた最少株式数に応じて発行いたします。(相続により名義の方が変更となった場合は対象となりません。)
4. 株主優待乗車証は再発行いたしません(定期券式の株主優待乗車証をPASMOに移し替えた後、紛失または障害により再発行する場合を除く。)
5. 他の交通機関への振替輸送のお取扱いはいたしません。

グループ会社優待券

1,000株以上ご所有の株主様に発行

京成ホテル(水戸)・京成ホテルミラマレー	宿泊料金の20%割引・レストラン飲食料金の10%割引	優待券枚数 (向施設共通)	8枚
筑波山京成ホテル	宿泊料金の15%割引	優待券枚数	2枚
筑波山ロープウェイ・ケーブルカー	乗車料金20%割引	優待券枚数	3枚
鋸山ロープウェイ	乗車料金20%割引	優待券枚数	3枚
京成トラベル	「メイト」(国内)5%・「ホリデイ」(海外)5%割引 ※その他のパック旅行国内3%・海外3%割引	優待券枚数	4枚
京成バスシステム	旅行代金の500円割引	優待券枚数	4枚
千葉交通旅行社	「ドリームツアー」旅行代金の5%割引	優待券枚数	4枚
和風ファミリーレストラン「京成友膳」	飲食料金の20%割引	優待券枚数	5枚
京成ローザ ^⑩	映画館大人入場料金の800円割引	優待券枚数	5枚
リブレ京成	お買物代金2,000円ごとに100円割引	優待券枚数	20枚
京成フワワー	1件2,000円以上のお買物の場合10%割引	優待券枚数	5枚
京成バラ園「ローズガーデン」	入場料金(当日券)の50%割引	優待券枚数	6枚
京成バラ園「ガーデンセンター」	お買物代金5,250円以上で10%割引	優待券枚数	4枚
京成不動産	不動産売買仲介手数料の10%割引	優待券枚数	1枚
京成不動産	リフォーム工事代金の5%割引	優待券枚数	1枚
京成ドライビングスクール	入学金割引	優待券枚数	2枚
成田自動車教習所	入学金割引(普通車)	優待券枚数	2枚
西柏自動車教習所	入学金割引(普通車・中型車・二輪車)	優待券枚数	2枚
帝都ピークルショップ	車検整備コース料金5,000円割引 自動車飯金・塗装代金の10%割引	優待券枚数	2枚
JALイービーシー	空港宅配通常料金より1個につき300円割引 ※成田・中部・関西・羽田(国際線ターミナル内)の各空港	優待券枚数	4枚
JALイービーシー	携帯電話レンタル料通常料金の20%割引・ 通話料通常料金の10%割引 ※成田・中部・関西・羽田(国際線ターミナル内)の各空港	優待券枚数	4枚
スーパー銭湯「笑がおの湯」	入浴料50%割引	優待券枚数	10枚

(有効期限は、優待券に記載のとおりです。)



本誌は再生紙、植物油インキを使用しています。